

水海道教会ボランティアセンターニュース NO,2

委員長 福島純雄
統括主任 飯塚拓也

(ボランティア活動の報告)

9月14日(月)より始まった「水海道教会ボランティアセンター」は、茨城地区、関東教区、他教区他団体より多くの方々のご協力によってボランティア活動に取り組むことができました。この5日間に、ボランティアや訪問して下さった方々は以下の通りです。

9月14日(月)27名
9月15日(火)32名
9月16日(水)26名
9月17日(木)25名
9月18日(金)33名
9月19日(土)64名
延べ 207名

この外に、水海道教会や二葉こども園・保護者の方々が多い日で30名を超えました。

こども園保護者の皆さまが自らボランティアを申し出て下さったことに、教会とこども園が保護者の皆さまに信頼され愛されていることを感じました。

教会堂と牧師館、こども園舎、信徒宅、教会関係者宅、園関係者のお宅でのボランティアの内容は以下の通りです。

泥水をかぶった床や壁の清掃
高圧洗浄
水をかぶった品物の整理
不要となった品物の搬出
庭に蓄積した泥のかき出し

ボランティアの皆さまのお力によって、ボランティアを受け入れたお宅での作業が進み、支援作業が完了したお宅もありました。これは、大変に嬉しいことです。

他方で、ボランティアに取り組みましたが、なお引き続き支援を必要とするケースもあり、週明け以降のボランティアを希望されている方がいらっしゃいます。

(ボランティアセンターの延長)

9月19日(土)のボランティア作業の終了後、運営委員会を開催し、今後のボランティア活動について話し合いを行いました。

そして、継続してボランティアに入ったお宅で、まだ作業が完了していないお宅があることが確認されました。そこからは、週明けも継続してボランティアを受け入れたいとのことです。

ボランティアセンターとしても、作業が完了していないにもかかわらず、ボランティアを打ち切ることにはできないと考えました。最後までボランティアの責任は果たしたいと願います。

そこで、まだ作業が終わっていないお宅がありますので、ボランティアセンターの延長を決定しました。

シルバーウィーク中の、9月21日(月)～23日(水)まで、ボランティアの受け入れと派遣を行わせていただきます。また、その後については、後日検討いたします。

ぜひ、ボランティアにお越しくください。

よろしく願いいたします。

(ボランティアの申込み)

ボランティアの申込みは、引き続き、飯塚統括主任が担当します。

竜ヶ崎教会にお電話いただくと、電話が転送されます。☎0297-64-3768 です。

教会やこども園、加藤牧師の状態等についても、加藤牧師の対応の負担を減らす意味で、外部の方は飯塚統括主任にお尋ねください。

(ボランティアの際の用意)

重ねてお知らせをしているように、「ボランティア保険」の加入をお願いします。各地自体の、社会福祉協議会が窓口です。

当日持参するものとしては、帽子、マスク、軍手、長靴清掃用具（タオル、雑巾は、ボランティアセンターにあります）、水筒、昼食、です。

(ボランティアの心得) ボランティアに入られる皆さまに配布しているものです

- ◆効率的に早くかたづけるといことが大切なのではありません。被災された方のペースを大切にし、むしろ“スローク”を心がけてください。
- ◆ボランティアの方も休憩を大切に、しっかり取ってください。水分補給も忘れずに。休憩時間に、依頼者からお話を伺うことができるといいですね（でも、無理には聞き出さないこと）。
- ◆「汚れているから」「使い物にならないから」と、自分の思い込みで物を処分しないでください。それは思い出のある大切な品かもしれません。依頼者に「捨てていいのか」「どうしてほしいのか」を丁寧に確認してください。依頼者が迷っている場合は、決断を迫らず、翌日まで待つなど、依頼者の決断を大切にしてください。
- ◆被災された方が、疲労やストレスを抱えていることを理解してください。疲れていれば、誰でも無口になったり不機嫌になることはありますよね。
- ◆被災された方にアドバイスなどをするのではなく、その方の言葉に耳を傾けることを大切にしてください。
- ◆「せっかく来たのに」「こんなにやってるのに」というのは禁句です。被災された方を大切に、被災された方のために働きましょう。
- ◆ボランティアの貴重品については、自己管理・自己責任をお願いします。
- ◆報告・連絡・相談を大切にしてください。困ったことや迷ったこと、気づいたことがあったら、些細なことでも、ボランティアセンターのスタッフにお知らせください。
- ◆仕事依頼の受付は、ボランティアセンターで一括して行いますので、依頼先で別の依頼をされても、その場では受諾せず、ボランティアセンターにその依頼をお伝え下さい。
- ◆被災された方であっても、万が一、理不尽な要求やセクハラ等があった場合には、すぐにボランティアセンターに連絡してください。

主にある皆さまからの、祈りと支援を感謝します。ご協力をよろしくお願いたします。